

第49回 広島県民スポーツ大会

競技上の確認事項

大会競技委員長

1. 本大会は、2024年度（公財）日本バレーボール協会制定9人制競技規則および広島県民スポーツ大会競技要項により実施する。（特に、参加資格5月1日以降同一市・区・町に居住している者の項についてはフェアであること）
2. チーム構成は、監督・コーチ・マネージャー各1名と選手15名以内とする。監督・コーチ・マネージャー各章は規定の物を左胸に着けること
3. チームスタッフ・選手の変更は、受付時に終了とします。来場の際、エントリー用紙に記入登録し、提出すること。
4. 試合開始予定時刻は、9時45分ホイッスルとする。したがって、9時34分プロトコールとなる。
各コート第1試合目 当該チームの占有練習は9時24分からとする。
5. 公式練習は各チーム3分間とする。
6. 各コートの第1試合補助員はコート第3試合目のチームから6名お願いする。
2試合目以降は、そのコートの敗者チームから6名をお願いする。
7. 各コートの第2試合からは、前の試合終了 5分後にプロトコールとする。
(連続試合の場合は、試合間を10分間とする)
8. 各チームは、「エントリー用紙」を会場来場時 受付に提出する。
(提出されたエントリーは、大会終日 全試合適用とする。)
9. 各チームの「サービス・オーダー票」は、試合前に担当審判員に提出する。
10. 試合が連続する場合は10分間の休憩時間を持つ。その間に練習をする場合【ネットを使用しない練習】を認める。
(但し、隣接コートにて、試合をしている場合はボールキーパー等の処置を行う事)
11. コートのワイピングは選手が速やかに行う事。モップ利用については審判員の指示にて行う。
(各セット間・タイムアウト時ではベンチ構成員のモッピングを許可する)
12. 大会使用球は、男子『ミカサ』、女子『モルテン』製 人工皮革 カラーボール 5号球

問い合わせ先 一般財団法人広島県バレーボール協会 TEL 082-228-0224 / E-Mail office001@hva.or.jp

審判上の確認事項

大会審判委員長

1. 本大会は、公益財団法人日本バレーボール協会2024年度「9人制競技規則」により実施する。
2. プロトコールが開始されたら、競技場に入ることができるのは、競技委員に提出した構成メンバー表（コンポジションシート）に記載されたチーム役員と選手のみである。
3. トスに勝ったチームキャプテンは、「サービスを打つか、サービスをレシーブするか」、または「どちらのコートに入るか」を選択する。
4. 監督は試合中、チームベンチの最も記録席に近い場所に座るか、選手交代ゾーンに引いたラインの延長線からウォームアップエリアまでの自チームベンチ前のフリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。ただし、試合を妨害したり、線審の判定の妨げになるような場所に立ち止まったり、判定に影響を及ぼす行為は罰則の対象となる。
5. 試合の中断（タイムアウト・選手交代）の要求は、ラリー完了後、次のサービス許可のホイッスルまでに要求する。ラリーが完了せずプレーがノーカウントとなった直後は、両チームとも中断の要求はできない。また、遅延警告の罰則が適用された場合は、そのチームは同じ中断中に中断の要求をすることはできない。
6. ボールの侵入などにより、ラリーがノーカウントとなった場合は、ノーカウントになったときのサービス（第2サービスで始まったラリーなら第2サービス）で試合を再開する。
7. タイムアウトの要求は、監督がハンドシグナルを示して要求すること。監督がいないときは、ゲームキャプテンがハンドシグナルを示して要求すること。
8. タイムアウトに入ったら、プレー中の選手はコートから離れなくてはならない。タイムアウトは30秒間であるが、選手は30秒を待たずにコートに戻ってもよい。ただし、タイムアウトの時間が短くなることはない。タイムアウト終了のホイッスルの後、すぐにコートに戻らない場合や、サービス許可のホイッスルを遅らせる行為など、試合の進行を遅らせる行為は、遅延の制裁の対象となる。
9. 選手交代の要求とは、コートに入る準備のできた交代選手が、選手交代ゾーンに入ることをいう。この場合、監督またはゲームキャプテンはハンドシグナルを示す必要はない。交代する選手は選手交代ゾーン内のサイドライン上で片方の手を上げ、交代の要求が認められたときは、副審の合図で交代する。ただし、コート内の選手の負傷や病気による選手交代の場合は、監督（監督がいないときはゲームキャプテン）がハンドシグナルを示して要求する。
10. 複数の選手を交代させたいときは、その複数のすべての交代選手が確認できるよう時間を開けずに選手交代ゾーンに入る。選手交代ゾーンに入るタイミングが明らかに遅れて、交代選手として確認できなかった選手が遅れて入ってきた場合は、その遅れた選手交代の要求は拒否される。
11. セット間は、他の試合の妨げとならない限り、自チーム側のエンドライン後方のフリーゾーンおよびサイドライン横のフリーゾーンで、ボールを使用してウォームアップをすることができる。
12. 試合中コートが濡れた場合は、コート内の選手がタオル等を用いて、ラリー終了後速やかに拭くこと。モップの使用は、タイムアウト中、セット間、および審判が指示したときとする。